

小さな来ごと

八月は今日 三十一日で終り 今年が八个

月すまえたのた 子をゆが月で来年になつて

しまう その問はずして来たのたろろ

一日三回の食事をし それを世の串で言ひ終

ゆがゆが 午前十時半 午後三時半 五をは

夜中 夜中 夜中 時折へんぱいと話を可

るゆがた

唯一昨年三日からかきはじめた「ヤセイ」が

二白地に書くた だかろと言つてその「アツセ」

をどすすうといふ事も多い 何を習ひようか

思ふゆがたの物で多い 自分の奥つくりのこゝと

音をとりよつとととと その時その時文字おして

いのちがた

今日が去来どとと 一人ひとり担当者はあつて二

つ分すれば一階用は守るおとといふや その

分ふ金はかかるととといひぬ 「この子あが

結構です」 と書きた 自分の思つてゐるこゝと

か「スル」と書きた 9はうれしい

そして心をゆがた これもあがあがあ

の うまく知れぬの 所のうまかたも
 いる、かすりの笑で 外へ出ることも
 ないかすりの その昔 似たり昔や黄魚の「ニナメ
 ル」をぬつての 元おしやれ竹柄はひき
 そわでも 手あそび きれぬなうた
 とらつしはの はかたに
 ぶとくしこの 技術は表 現去来者の べつとび
 半分作をあたし 鏡をし「こゝろをし」 即ち
 毛をよすの べつとび けさみはあそ
 命も「たぐうい」に「サ」へスレる きのう
 てきさぐりで 髪を切る 「ゲ」が だかう
 えりのや首すじに 毛があると かゆくて
 いらいらあそ だかう「サ」に「と」の べつとび
 カフト「サ」の かわ子があつた「サ」 髪をとり
 るも「サ」が「サ」の「サ」に「サ」の「サ」
 る 今日はおれ「サ」の 去来が「サ」
 一人「サ」の「サ」に 自分の 意見 似たり
 「サ」の「サ」の「サ」の「サ」の「サ」
 「サ」の「サ」の「サ」の「サ」の「サ」
 さる去来「サ」の「サ」の「サ」の「サ」

2019 8/31